

女の子はもっと伸びる

未来を担う少女たちに今、

必要なチカラと環境

幸せに生きていくためには必要なチカラがある
チカラをつけるために必要な環境と条件がある



スペシャル メッセージ
衆議院議員 小池百合子氏
(録画)

兵庫県生まれ。カイロ大学卒業。アラビア語通訳を務め「ワールド・ビジネスサテライト」等でキャスターとして活躍後、1992年政界に転身、現在まで参議院議員1期、衆議院議員7期連続当選。環境大臣就任、内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策)兼任、内閣総理大臣補佐官(国家安全保障問題担当)を歴任。2007年には女性初の防衛大臣を務める。「クールビズ」の仕掛け人。「大義」を国民が「共感」できる政治を心がける政界の女性リーダー。



女子教育の実践者および日本の女性リーダーが語る、
未来をしなやかに切り拓き、幸せな人生を歩むチカラ。

パネルディスカッション

『未来を担う少女たちに今、必要なチカラと環境』

基調講演

昭和女子大学学長 坂東真理子氏
『女性グローバルリーダーを育てるには』

富山県生まれ。東京大学卒業後、総理府入省。青少年対策本部、婦人問題担当室、老人対策室、内閣総理大臣官房参事官、統計局消費統計課長などを経て男女共同参画室長となる。その後、埼玉県副知事、ブリスベン総領事(女性初の総領事)、内閣府男女共同参画局長、2004年4月～昭和女子大学大学院教授、女性文化研究所長、2007年4月より現職。ベストセラー「女性の品格」を始め数多くの著書・講演等を通して、日本人女性の意識を高め続けている。



パネリスト
聖徳大学教授 / 取手聖徳女子
中学校高等学校校長 長野雅弘氏

名古屋市生まれ。南山大学外国語学部英米科卒業後、公立高校、私立高校教諭を経て、女子校4校の校長を務め現職。2010年に全国初、女子教育に関する教育特例校に取手聖徳女子中学校・高等学校が指定される。「子供の可能性を伸ばす学校、見逃す学校」「思春期の女の子の育て方」他著書多数。闘う校長、学校改革者として各方面からの注目を集める。特別な教育課程「女性キャリア」を実践中。



パネリスト
十文字学園女子大学教授
日本女性学習財団理事
亀田温子氏

教育とジェンダー、キャリア形成と社会参画など、女性のエンパワメントをテーマに学校教育、社会教育の領域に取り組む。お茶の水女子大学大学院修了後、文部省社会教育局で女性の生涯学習部署に勤務。広島大学研究員などを経て、現職。著書に「女性のキャリア形成支援ハンドブック」がある。社会人基礎力・体験学習等の幅広い視点から女子教育を充実させている。



パネリスト
ガールガイド・ガールスカウト
世界連盟理事 和田照子

長野県生まれ。早稲田大学法学部卒業。東京大学大学院法学政治学専攻科修了。ジョージタウン大学ロースクール修了。ニューヨーク州弁護士資格取得。現在は日本経済団体連合会経済基盤本部主幹。ガールスカウト日本連盟理事、副会長、会長を経て2011年ガールガイド・ガールスカウト世界連盟理事就任。世界145の国と地域で少女の可能性を最大限に引き出し、自ら考え行動できる女性を育てる世界最大級の社会教育団体を率いる。

とき

2013年3月24日(日) 13:00-16:30

ところ

国立オリンピック記念青少年総合センター
センター棟 101号室

参加費
定員

参加費 500円
定員 200名(先着順)

女性の力が必要とされる中、少女たちのチカラを育む環境が減っています。 少女たちのチカラを伸ばす環境は、必要ではないのですか？

日本の男女格差 135 カ国中 101 位※[注1]。管理職も政界も大多数を男性が占める。——国際通貨基金(IMF)は、「日本経済の発展には女性の力が必要」と緊急発信。世界経済フォーラム(本部ジュネーブ)は、2015年までに日本の男女間の経済的格差を10%縮めることを目指し、ジャパン男女平等参画社会タスクフォースを発足。日本政府も、あらゆる分野において指導的地位を女性が占める割合を2020年までに30%程度に上げるとしています。

『才能ある女性へのアクセスを強化すること』が鍵※[注2]とされる中、国内において、女子校・女子大の数は20年前の半減。その一方、男女共学校率(中高)は96%※[注3]。男女が共にいる環境が少女のチカラを本当に伸ばしているのならば、今頃、格差指標で日本はもっと上位にあったのでは。日本の未来を担う女性が必要とされる中、私たちは、「少女のチカラを伸ばす」という重要な問題を見過ごしているのではないのでしょうか。

[注1] 世界経済フォーラム 2012 年度発表
「世界男女格差年次報告書」より：調査国 135 カ国中 101 位
[注2] 世界経済フォーラムジャパン男女平等参画社会タスクフォースより
[注3] Benesse 教育情報サイト「学校情報」より集計

英国や米国では、女子校や女子大は総合的に少女と女性のチカラを伸ばす場所として、高い教育成果とともに存在意義が承認されています。ガールスカウト日本連盟の調査でも、少女だけの環境で活動することにより、「困難に立ち向かう」「積極的に人と関わる」「仲間と成し遂げる」という自己効力感が、会員は一般女子中高生に比べて高いと判明。また、様々な活動から得た経験が、広い視野と選択肢を広げていることが分かりました。※[注4]

本フォーラムでは、少女たちの自己肯定感を育み、それぞれの才能とチャレンジ精神を發揮させ、社会に貢献する女性を輩出してきた専門家たちが語ります。よりよい社会をつくるため、豊かな人生を送るためにつけるべきチカラとは何か。社会が女性に期待しているチカラ、そのチカラをつけるためにはどんな環境や条件、社会の体制が必要なのか。皆様と共に考えていきたいと思います。

[注4] 「日本のガールスカウト教育を考える会」調査報告書より(3月24日発表)

プログラム

第一部 13:00 ~ 14:20
ガールスカウト日本連盟浅野万里子会長 開会挨拶

基調講演『女性グローバルリーダーを育てるには』
講師：昭和女子大学学長 坂東真理子氏

調査報告：『女子のみの環境が育てるチカラ』
ガールスカウト日本連盟特別委員会
「日本のガールスカウト教育を考える会」調査報告

第二部 14:30 ~ 16:30 (途中休憩含む)
スペシャルメッセージ(録画)
衆議院議員 小池百合子氏

パネルディスカッション
『未来を担う少女たちに今、必要なチカラと環境』

パネリスト：
聖徳大学教授 / 取手聖徳女子中学校高等学校校長 長野雅弘氏
十文字学園女子大学教授 / 日本女性学習財団理事 亀田温子氏
ガールガイド・ガールスカウト世界連盟理事 和田照子

総合司会・コーディネーター：平松由美(フリーアナウンサー)

お申込み方法 2013年
3月20日(水・祝)必着 ※先着順

【インターネット(お申込みフォーム)】
<http://www.girlscout.or.jp/forum201303/>

【FAX】03-3460-8383

氏名(ふりがな)・性別・所属・電話番号・メールアドレス・
託児希望の有無(3歳以上の幼児の無料託児を承ります)
を明記の上、「フォーラム担当宛」にお申込みください。



国立オリンピック記念青少年総合センター
センター棟 101号室 渋谷区代々木神園町3番1号